学生・生徒の声

合格者の声

「5S」の大切さを品質管理で学び、2年生のインターンシップで活かすことができました。

「5S」の大切さを品質管理で学び、2年生のインターンシップで活かすことができました。インターンシップ先で第一に優先したのは、安全でした。安全に作業を進めるには「5S」の徹底が必要で、けがを防ぎ、かつスムーズに仕事を進めることができるということを学びました。また、品質管理で学んだことで大切だと思ったことは、「5S」だけでなく「ほうれんそう」も必要だと実感しました。報告・連絡・相談ができないと、作業の流れが行き詰まったりすると納期に間に合わず、結果的に会社の信用にかかわります。仕事をする上で、信用がないとお客様も安心して購入できないので信用は大切だと思いました。

私達の高校では社会に出て働く人が多いので、社会人として身につけることは早めに身に付ける必要があると思います。品質管理を学習する上で、基本的な知識をたくさん学ぶことができたので、将来に活かしたいと思います。

石川県立小松工業高等学校

合格者の声

工業高校生の目標であるジュニアマイスター（シルバー）を取得することもできました。

私が品質管理検定を受検した理由は、専門科目の授業の中で品質管理について学んだためと、高校卒業後、就職する生徒が多いこともあって、クラス全員で受検することになったからです。夏休み前に要点をまとめたプリントと演習問題をもらい、夏休みが終わる2週間前あたりから勉強を始めました。問題を繰り返し解いて、わからないところは要点のプリントを見てしっかり理解し、出題されそうだと思ったところは確実に覚えるように心がけました。

私の場合、努力の甲斐あって合格することができた上に、工業高校生の目標であるジュニアマイスター（シルバー）を取得することもできました。また、私は大手自動車メーカーに内定をいただきましたので、今後さらに必要となる品質管理の基礎知識を少しは身につけることができたのではないかと感じています。入社後は、さらに品質管理について深く学びながら、仕事に役立てていきたいと考えています。

熊本県立熊本工業高等学校

QC検定を導入・活用されている企業からの声

— 学校（学生・生徒）に期待すること —

企業からの声

品質管理の考え方・手法を修得することを奨励しています。

コマツにとって製品やサービスの「品質と信頼性」がどれほど重要なのか、新入社員が本当に理解できるまでには時間がかかります。近年、統計やQCストーリーを学校教育に取り入れる動きがありますが、是非とも学生時代に論理的思考や問題解決能力の基礎を固めてほしいと思います。もし入社時に既に品質管理に関する知識があるならば、品質の重要性を早く理解し、自分の業務に関する理解も深まることが期待されます。
品質管理の考え方・手法を修得することを奨励しています。

コマツ コマツウェイ総合研修センタ 教育企画部（コマツ全社QC活動推進事務局）
垣内 リエ

受検情報や申込み、各種最新情報はHPをご覧ください！
https://www.jsa.or.jp/ QC検定 検索

詳しくはWEBで！

一般財団法人 日本規格協会 QC検定センター 〒108-0073 東京都港区三田3-11-28 三田Avanti TEL：050-1742-6445 E-MAIL：kentei@jsa.or.jp

就職に役立つ資格

一般社団法人 日本品質管理学会認定

QC検定®

QC 検定

The Quality Management and Quality Control Examination 品質管理検定

年2回開催

1級・2級 試験日程 筆記試験
第1回…3月の第3日曜日（原則）
第2回…9月の第4または第5日曜日（原則）

3級・4級 試験日程 コンピュータ試験
第1回…12月中旬～3月下旬（原則）
第2回…6月下旬～9月下旬（原則）

QC検定とは

品質管理検定（QC検定）は、品質管理に関する知識をどの程度持っているかを4段階の知識レベルに分け、試験により客観的に評価を行うものです。

品質管理検定（QC検定）は
一般社団法人 日本品質管理学会の認定を受けて実施しています。

2005年に第1回試験が始まり、それ以降年2回、毎年試験を実施しています。
品質管理の知識といっても、どのような問題を解決するのかによって必要となる知識は異なります。QC検定では、品質管理・改善を実施するために求められる能力とその能力を発揮するために必要な知識を4つのレベルに分け、1級～4級の4つの級を設定しています。

3級・4級 がCBT（コンピュータ試験）になりました！

※1級と2級は筆記試験です。

主催 一般財団法人 日本規格協会 一般財団法人 日本科学技術連盟

就職に役立つ資格 QC検定

品質管理 ってなんで大切なの?

3日前に買ったばかりの携帯電話の電源が入らなくなってしまった。

商品が棚に陳列されずに、ダンボールのまま床に置かれた状態で販売されている。

もしあなたがこんな経験をしたらどう思いますか?

そのメーカーの製品に対して不安を感じるでしょうし、今後その店での買い物は控えようと思うかもしれません。このように製品やサービスの品質に対する社会の目は厳しく、組織に対するお客様からの期待は大きくなっています。お客様に満足いただける良い製品やサービスを生み出すための「品質管理」は、今や誰にとっても身近な存在なのです。お客様の期待に応えるためにも、組織として品質管理に取組むことが大切です。

メリット 学生がQC検定に取り組むべき理由

メリット1

就職活動において、**QC検定合格者を評価する企業**が増えています。

メリット2

QC検定の知識は、企業に入った後、**即戦力**として必ず役に立ちます。

メリット3

ジュニアマイスター顕彰制度のポイント申請が可能です。

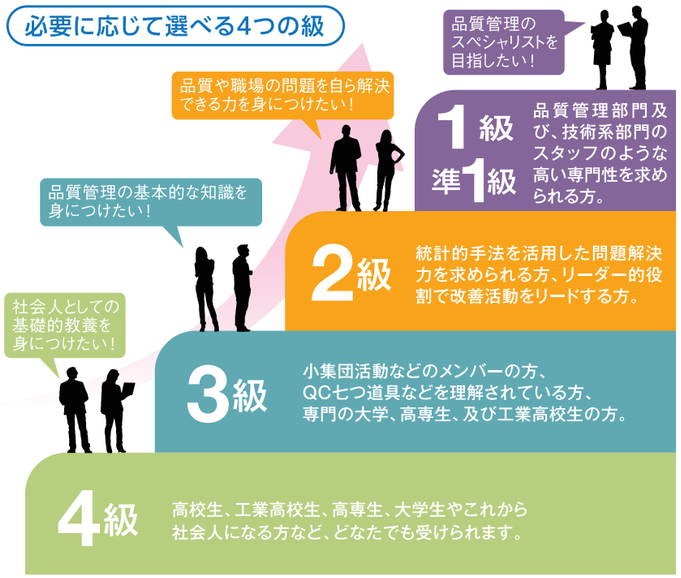
メリット4

大学自己推薦入試において優遇を受けられる場合があります。

企業・学校からの申込件数は1,000社(校)にものぼり、就業現場においても認められている資格です。

QC検定 を活用! 到達レベルの1つの指標に!

組織全体で品質管理を学ぶことの重要さはわかるけど、それぞれの仕事によって、解決すべき問題も必要な知識も異なるし、どのように教育を進めれば良いのかわからない……。
そんな方にもQC検定はおすすめです。QC検定では、組織においてどのような仕事をされているか、その仕事において品質管理、改善を実施するレベルはどれくらいか、そしてその管理・改善をするためにどれくらいの知識が必要かなどにより4つの級を設定しています。ぜひ、教育の到達レベルのひとつの指標として、そして組織全体のQCレベルの底上げにQC検定をご活用ください!



品質管理教育 の証に!

品質管理は、特に製造業において、非常に重要となる考え方です。工業高校生の就職先は製造業が多く、もの作りを勉強するために品質管理教育を「工業管理技術」等から学び始めている学校が多くみられます。
せっかく、品質管理を工業高校、総合高校、高専、大学で学ばれたのでしたら、その証として品質管理検定という資格を取得するのはいかがでしょうか。社会から高く評価されることに繋がることでしょう。

取組み 事例紹介

企業はもちろん、学校や地域単位でのQC検定への取組みも広がっています。

QC検定導入の経緯

社会ですぐに役立つ知識を高校生のうちから学ぶことは、非常に有効かつ重要な位置づけである 栃木県立真岡工業高等学校

平成20年4月、本校の学科再編に伴い、生産機械科(1学級定員40名)が設置された。学科の目標は"生産機械に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、生産効率の向上に寄与することのできる柔軟な発想を備えた実践的な資質・能力を有する技術者を育成する"とした。
学科の特色として、「機械工作」や「実習」の時間を充実させ、理論と実作業を関連づけた教科指導を取り入れた。また、将来生産ラインに従事または管理することも想定し、機械制御の技術を身につけるため、「電子機械」や各種制御に関する実習内容も学習するようにした。
さらに、製造に関する理論や技術だけでなく、製造現場で重要とされている品質管理の考え方を学ぶ必要があると考え、「工業管理技術」の履修も決定した。この科目の学習の一環として、栃木県の工業高校ではこれまで取り入れられていなかった「品質管理検定4級」を導入し、卒業後の様々な仕事に活かせるようにした。
「品質管理検定4級」試験は、社会人としての心構えや品質管理においての基礎知識を広く学べる内容であり、卒業後社会に出る生徒が多い専門高校では、社会ですぐに役立つ知識を高校生のうちから学ぶことは、非常に有効かつ重要な位置づけであると考えている。

愛知の「モノづくり」に対する意識を高め、品質管理の授業展開を早期である1年生から始めたい 中部大学第一高等学校

本校は普通科と工業科を有する各学科の特徴をもちながら、工業科である機械電気システム科では資格取得指導を前面に、1年次から多くの資格を取得している。全国工業高等学校長協会のジュニアマイスター顕彰制度においても、多くの生徒が「ゴールド」、「シルバー」の認定を受けている。
機械電気システム科は愛知県下のトヨタ系企業への工場に就職する希望者が多く、第一にある愛知の「モノづくり」に対する意識を高め、品質管理の授業展開を早期である1年生から始めたいということで、平成21年度に希望者を対象に受検をさせる形で始めた。このときのテキストは日本規格協会がホームページで公開している「品質管理検定(QC検定)4級の手引き」を指導テキストとして使用した。この段階では愛知県の工業高校ではQC検定を取り組んでいる学校が少なかった情報もあり、早い段階で本校が取り組むきっかけとなった。また、当時1年次に取り組む検定としては、ジュニアマイスター顕彰の区分には4級が4点であったのも魅力であった。(現在の4級は2点である。)